

大気浮遊じんの放射能濃度測定結果

ちりやほこりに付着した放射性物質の飛散状況を調べるため、市内10地点で収集した大気1m³あたりの放射性物質の濃度を測定しました。

測定地点		放射能濃度 (mBq/m ³)			
		7/11~18	7/18~25	7/25~8/1	
小高区	川房公会堂 (川房)	セシウム134	0.019	不検出	不検出
		セシウム137	0.230	0.140	0.17
	金房小学校 (飯崎)	セシウム134	0.014	不検出	不検出
		セシウム137	0.110	0.040	0.095
	塚原公会堂 (塚原)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.034	0.028	0.025
原町区	横川ダム (馬場)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.180	0.085	0.19
	原町保健センター (小川町)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.091	0.032	0.045
	高平生涯学習センター (下高平)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.045	0.059	0.026
	市立総合病院 (高見町)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.038	0.044	0.035
	大原公会堂 (大原)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.086	0.066	0.012

測定地点		放射能濃度 (mBq/m ³)			
		7/11~18	7/18~25	7/25~8/1	
鹿島区	鹿島区役所 (西町)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.033	0.061	0.021
	鹿島区3-3消防屯所 (南海老)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.019	不検出	0.092

検出限界値はおおむね0.02~0.03mBq/m³の範囲にありますが、測定サンプル毎に変動します。そのため、データの記載がない日は、放射能濃度が検出限界値未満の値であり「放射能不検出」と判定されます。

渡邊正己京都大学名誉教授

(市放射線健康対策委員会委員長)による解説

今回の結果に異常値は見られず、健康影響を心配することはありません。この夏は、日本中で異常気象が観測されています。異常乾燥や洪水は、環境内に残存する放射性物質が環境内を移動する原因となります。そのため、時々、地方自治体^(注1)や国^(注2)の環境汚染情報サイトを開いて生活圏における放射能汚染の状況をご自分で確認していただくと一層安心して生活していただけるものと思います。

注1 南相馬市ホームページ:

<http://www.city.minamisoma.lg.jp/index.cfm/10,0,59,html>

注2 原子力規制委員会ホームページ:

<http://radioactivity.nsr.go.jp/ja/list/512/list-1.html>